

# 次代を担う若者の「志」を育てる応援団 「サポートボード」としての 学校運営協議会



京都市立塔南高等学校

校長 小野 恭 裕



京都市立塔南高等学校

はじめに

コミュニティ・スクールとして  
今年の3月に発足したばかりの本校。  
現状と今後の予定について、  
地域連携の取組を中心に  
お話しいたします。



# 発表の流れ

- ① 本校の概要等
- ② コミュニティ・スクール発足までの経過
- ③ 昨年度行った  
「設置に向けての研究協議会」の様子
- ④ 本年度の様子や今後の予定





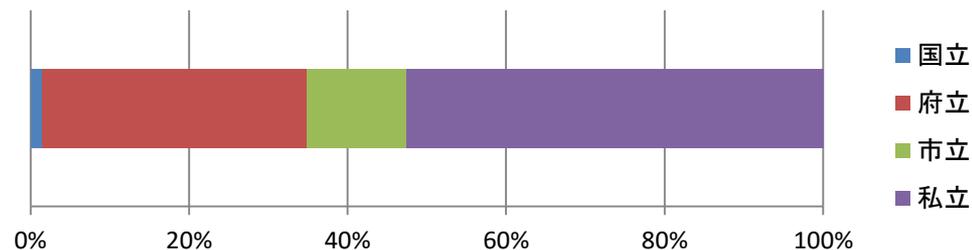
# 京都市立高校のご紹介②

## 京都市内の設置者別高校数・生徒数



	国立	府立	市立	私立	計
学校数	1	17	10	26	54
生徒数	585	14,498	5,422	22,772	43,277

平成29年度学校基本調査結果統計による



	国立	府立	市立	私立
生徒数	1.4%	33.5%	12.5%	52.6%



# 京都市立高校各校の位置



京都市立塔南高等学校

# 本校のご紹介①



# 本校のご紹介②

## 概要

学校名：京都市立塔南高等学校

由 来：東寺の五重の**塔**の**南**にあることから

所在地：京都市南区吉祥院観音堂町41番地

創 立：昭和38年

学 科：普通科・教育みらい科

※教育みらい科は平成19年度から設置

生徒数：718名（男子349名，女子369名）

普通科 598名

教育みらい科 120名



# 本校のご紹介③

## 教育目標

- 高い学力と豊かな人間性を育む
- 将来，社会で活躍・貢献する人材を育成する

**「なりたい自分」を探し，深める**



# 本校のご紹介④ 「教育みらい科」

豊かな人間性と高い専門性を備えた  
優秀な教師育成を目指す専門学科

知性

バランスのとれた  
知識や思考力・判  
断力を養う。

志

使命感・情熱を  
高め、たくまし  
さ・行動力・忍  
耐力を培う。

実践力

人間関係形成力  
やリーダーとし  
ての実行力を高  
める。



# 本校のご紹介⑤ 「教育みらい科」

## 特徴的な取組

### 総合的な学習の時間 「教育チャレンジ」

#### 学校現場実習



#### 教育課題探究発表会



# 本校のご紹介⑥ 「教育みらい科」

## 特徴的な取組

**塔南生が**  
保育園を見学したり  
小学生に絵本の読み  
聞かせを行ったり



**小学生が**  
高校の様子を見学し  
に來たり高校のグラ  
ウンドで持久走の記  
録会を行ったり



# 本校のご紹介⑦ 「普通科」

## 3年間のキャリア教育

### 進路への関心を高める

1年次

- ・総合的な探究の時間  
(NPOとの連携)
- ・研修旅行  
(キャリア・フィールドワーク)
- ・大学訪問

### 進路を探究する

2年次

- ・課題探究
- ・国際交流授業
- ・大学・企業・研究所訪問  
(キャリア・フィールドワーク)

### 進路を決める

3年次

- ・研究・演習科目
- ・進学補習

## 総合的な探究の時間



## キャリアフィールドワーク



1年生の3月に東京方面へ  
(3泊4日)



# 本校のご紹介⑧ 「普通科」

## 3年間のキャリア教育

### 進路への関心を高める

#### 1年次

- ・総合的な探究の時間  
(NPOとの連携)
- ・研修旅行  
(キャリア・フィールドワーク)
- ・大学訪問

### 進路を探究する

#### 2年次

- ・課題探究
- ・国際交流授業
- ・大学・企業・研究所訪問  
(キャリア・フィールドワーク)

### 進路を決める

#### 3年次

- ・研究・演習科目
- ・進学補習

### 課題探究 (発表の様子)



### 国際交流 (Global Classmates)



### 研究室訪問 (京都工芸繊維大学)



# 本校のご紹介⑨

## 現役生の合格状況

(平成30年度卒業生275名・延べ数)

国公立大学	7
私立4年制大学	256
短期大学	16
専修・各種学校	78
公務員	3
就職	4
その他	17



# 本校のご紹介⑩

# 部活動も盛んです



# コミュニティ・スクール発足までの経過①<sup>17</sup>

平成27年6月

## 「新しい普通科系高校の創設に関する基本方針」

工業高校2校（洛陽・伏見）を再編・統合

「京都工学院高校」として平成28年4月に開校  
～洛陽工業高校跡地への移転・新校創設～

## 基本コンセプト

生徒が主体的・自律的にいきいきと活動する学校  
地域に貢献し地域とともに発展する学校  
生徒の持つ可能性を引き出し、高める学校



# コミュニティ・スクール発足までの経過②<sup>18</sup>

平成27年7月

「京都市立新設高校創設プロジェクト」設置

平成28年9月に「まとめ」を作成

最高目標……**社会に貢献する生徒の育成**

- ・ 学校・家庭・地域がともに学校運営について協議し、行動するコミュニティスクールの導入
- ・ 専門のコーディネーターを核とする教育支援組織（サポートボード）を校内に設置



# コミュニティ・スクール発足までの経過③<sup>19</sup>

校内では、

「塔南高校の在り方構想委員会」（平成27・28年度）

「新校構想委員会」（平成29年度以降）を軸に

検討を進めてきた。

- ・ 「総合的な学習の時間」の充実を含むカリキュラムや指導体制の見直し
- ・ 移転後を見据え、地域連携や大学・企業との連携も進める





唐橋地区清掃活動に参加  
(洛陽工から引き継ぎ)

地域の中学校での  
「ふれあいトーク」  
に参加

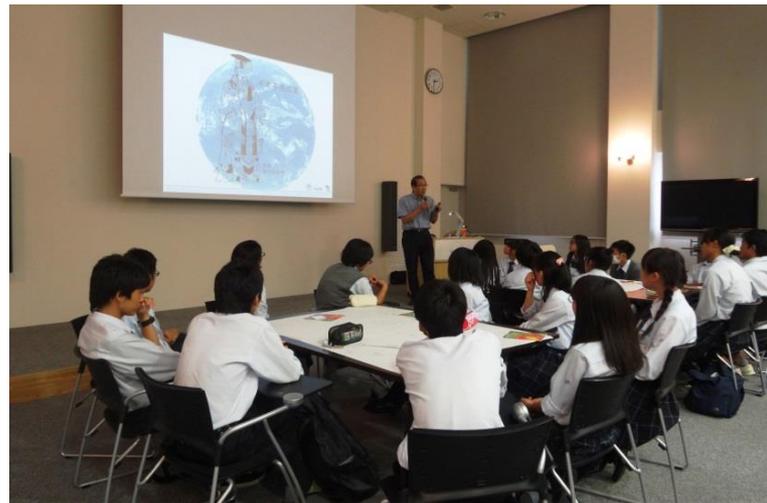




企業理念や働く上での思いを知る  
(企業との連携)

村田機械株式会社

株式会社SCREENホールディングス



知の世界のおもしろさ、奥深さに触れる  
(大学・研究機関との連携)

京都大学物質-細胞統合システム拠点

高エネルギー加速器研究機構



京都市立塔南高等学校

# 平成30年度 文部科学省研究指定 学校運営協議会の設置・拡充に向けた調査研究事業

## 研究課題

「社会に貢献する生徒の育成」を目指した  
教育支援組織（サポートボード）としての  
学校運営協議会の在り方について

**指定を受け，取組をさらに推進**



# 平成30年度 文部科学省研究指定 学校運営協議会の設置・拡充に向けた調査研究事業

## 「研究協議会」を年間3回実施

### 第1回（7月10日）

夏から秋の期間中，特色ある取組の視察を実施（任意）  
高校の教育活動への理解を深めていただいた

### 第2回（11月27日）教職員とのグループ協議も行った

第3回（3月13日）生徒から，課題探究発表及び  
キャリアフィールドワークの報告を行った  
「塔南高校学校運営協議会の方向性」をまとめた



## 地域連携事業の実施例

- ・ 「放課後まなび教室」 学習サポーター
- ・ 京都市南区一斉清掃ボランティア（年間4回）
- ・ 祥栄小学校及び吉祥院小学校防災キャンプボランティア
- ・ 吉祥院小学校3年生の地域探究（総合的な学習の時間）  
受け入れ
- ・ 京都市吉祥院図書館との連携イベント  
（夏休み科学実験教室・絵本の読み聞かせ・  
美術作品展・書道パフォーマンス・  
図書委員おすすめの本紹介等）







# 「キャリアについて考える」 (主に2年生12月)



# 平成30年度 文部科学省研究指定 学校運営協議会の設置・拡充に向けた調査研究事業

## 昨年度の成果

- ・ サポートボード（教育支援組織）の役割や必要な実務を明確化させることができた
- ・ 「キャリアフィールドワーク」の連携先を、研究協議会委員から紹介いただけた



# 塔南高校学校運営協議会「発足式」 (平成31年3月13日)



京都市教育委員会からの  
「指定書」受領の様子

【コミュニティ・スクール初導入】

## 塔南高 住民が運営参加 職場体験など学び支援

地域住民らが学校の運営に関わる制度「コミュニティ・スクール(CS)」を、13日に初めて導入した。地元は初めて導入した。地元は初めて導入した。地元は初めて導入した。

京都市南区の塔南高が13日、京都市内の公立高校で初めて導入した。地元は初めて導入した。地元は初めて導入した。

自治会長や小・中学校長、企業の代表者が理事となり、今後、各組織が職場体験や地域活動の受け入れ先になるなどして生徒の学びを支える。

CSは、住民や保護者が参加する学校運営協議会を学校に設置する仕組み。地域と信頼を共有し、多様な活動を展開できるようにする。京都市内では大半の公立小・中学校が導入しているが、高校は進捗先としては大学が中心で、関係地域

も広範なところから導入が進んでいる。塔南高には、教員養成専門学科があり、地元の小学校で実習をこなすなど地域連携を進めていることから、4年後の校舎移転に伴う新たな学校づくりを勇躍進めて導入を決めた。

13日に関係者が集まり、学校運営協議会を設立した。今後、学校と地域連携のあり方を考えたり、教育活動をチェックしたりする。一部の活動には生徒も参加させ、地域社会を担う主体者であるという意識を育ててもらう。理事長の天

「京都新聞」  
平成31年3月14日朝刊

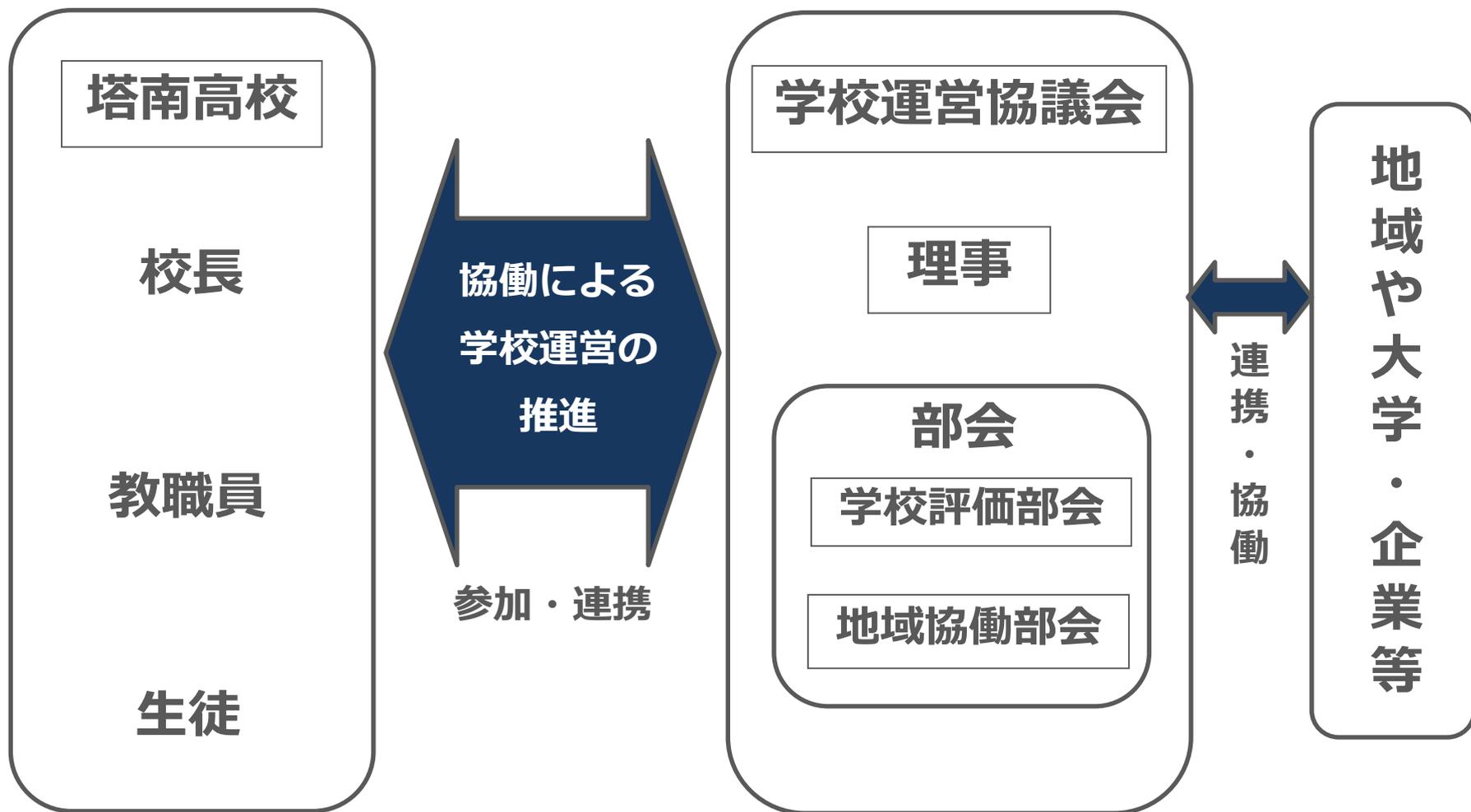
野広一唐崎学区自治連会長は「生徒が多くのことを吸収する場を作っていくたい」と述べた。

府教育委員会は4月に設置規則を施行してCSを府立高にも広める予定で、「地域に開かれた学校づくりを進めたい」としている。

(大西賢子)



# 本校のコミュニティスクール実施体制



# 学校運営協議会理事（敬称略・6月1日現在）

天野	広一	唐橋学区自治会連合会	会長	【理事長】
中江	宏之	祥栄学区自治連合会	会長	
阪谷	和美	塔南高校PTA	会長	
杉山	勝美	塔南高校同窓会	会長	
松岡	直子	京都市立祥栄小学校	校長	
前田	敏也	京都市立洛南中学校	校長	
齋藤	亜矢	京都造形芸術大学文明哲学研究所	准教授	
宿野	秀晴	京都中小企業家同友会	理事・政策委員長	
		Medico-tec株式会社	代表取締役	
向井	豊浩	京都市南区役所	副区長	



# 理事会の予定（年間3回）

## 第1回（4月24日）

学校運営方針及び学校運営協議会について

※グループ協議に生徒代表（4名）も参加

## 第2回（11月第1週予定）

中間総括をうけての学校運営計画修正承認

## 第3回（3月下旬予定）

年間総括及び自己評価等報告・承認

次年度運営方針の承認

この他に、学校評価部会・地域連携部会を  
それぞれ実施



# 第1回理事会（4月24日）

学校運営方針や協議会の活動について

生徒発表（昨年度の取組報告や今後行いたいことの提案）

グループ協議

「高校生が地域と連携して取り組む活動のアイデアを考える」

出された意見

- ・ みんなが集いたくなる美しい公園づくり
- ・ 中学生の学びのサポート
- ・ 防災キャンプや防災訓練への積極的な参加
- ・ 地域で育ち、地域で働くことの大切さを理解し、  
学びと社会とのつながりを実感できるように
- ・ ホスピタルアートの例



# 学校運営協議会（理事会）に生徒代表が参加している様子



# 第1回地域協働部会（6月11日）

## グループ意見交換

「高校生が地域と連携して行う，実現可能な取り組みについて考える」

※ 4月の理事会でのグループ協議で出てきた御意見をもとに，今年度実際に実現したい・実現できそうな取組を，担当理事・教職員・生徒代表で検討



# 第1回地域協働部会（6月11日）

## グループ意見交換での主な意見

- ・ 防災リーダー育成・・・実際の発災時に，高校生にも補佐してほしい。災害時のSNSを活用したネットワークづくりを高校生が考える
- ・ 高校生のころから社会を知っておくことは大切。  
「多様性の理解」も一つのキーワード
- ・ 持続可能性があるかどうかが大切
- ・ 事前学習をしっかりとしておくべき



# 学校運営協議会（地域協働部会）に 生徒代表が参加している様子



# 今年度の重点項目

- 企業，大学・研究所，地域との一層の連携に向けた実施体制の構築  
高等学校コンソーシアム京都との連携
- 「防災ボランティアリーダー」の継続的な育成，  
地域と連携した取組の推進



# 今年度の重点項目

「高等学校コンソーシアム京都」との連携

2年生の冬に行う「キャリアについて考える」  
を実施するに当たっての、

訪問先（大学・研究所等）への協力依頼、  
連絡・調整、事前・事後指導

・・・のサポート体制を構築する

※現在、実施に向けての体制づくりを  
行っている段階



# 今年度の重点項目

## ○「防災ボランティアリーダー」の育成

防災ボランティアリーダー研修の実施  
今年度は、熊本県に数名を派遣予定



- ・ 校内の防災体験学習の運営や、避難訓練の事前学習への参画
- ・ 地域の小学校等の防災教育への参画

継続的に育成し、「地域の防災拠点」となる  
新校での取組につなげる





吉祥院小学校での  
「防災キャンプ」の様子

校内の避難訓練の様子



# 取り組んでみて

## 学校運営協議会は、「学校の応援団」

- ・ 生徒・・・多様な人々とのかかわりの中で、  
実感を伴った学び  
ボランティア活動参加者が増加  
社会や地域への関心が高まる
- ・ 教職員・・・「地域（←広く）とともにある  
学校」の視点を常にもち、  
様々な方との関わりの中での  
発見を取組に活かす



# まとめ ～新設高校への接続を見据えながら～

地域と連携したさまざまな取組を通じて、

- ＜生徒＞
  - ・ 多様性への理解
  - ・ 人と人との結びつきの大切さ・有難さを知る
  - ・ 実社会で活躍する方々の「志」を実感
  - ・ 主体性やチャレンジ精神を養う
  - ・ 社会に貢献したいという意欲を高める
- ＜学校＞
  - ・ 学校だけでは創り出せない学びの形
  - ・ 京都が持つ「力」の豊かさを活かす



最後に・・・

# 8月16日夜の 大文字五山送り火の後・・・



全高P大会  
京都で  
お待ちしております！



**Kyoから！ 未来を拓く**

～ 受け継ぎ、創る新たなストーリー ～

**第69回全国高等学校PTA連合会大会  
2019京都大会**

**本年8月22日（木）・23日（金）  
京都市・岡崎公園で開催**



京都市立塔南高等学校

**御清聴ありがとうございました。**

